

まちの将来像を実現するため、9つのまちづくりの目標を設定しました。

1. 定住先として選択されるまち（都市環境）
2. 安心して子どもを産み育てることができるまち（子ども）
3. 楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち（学び）
4. 人と人がつながり、互いに支え合い、健康で安心して暮らせるまち（健康・福祉）
5. 災害に強く、安全・安心に暮らせるまち（安全・安心）
6. 産業が持続・発展する活力のあるまち（産業・交流）
7. 環境にやさしいまち（環境）
8. 多様な主体が連携・協働するまち（まちづくり・地域経営）
9. 効率的で効果的な行政運営のまち（行財政）



② エスディーズ ゴール SDGsの17の目標 国際社会全体として目指す「持続可能な開発目標」

総合計画に示す「まちの将来像」や「まちづくりの目標」、「施策方針」等の方向性は、スケールは異なるものの、SDGsの理念に通じており、総合計画の推進を図ることで、SDGs達成に向けた取組を推進します。



SDGsの17の目標と総合計画の施策方針を関連付け、SDGsとそれぞれの施策との関係性を理解し、町の取組を総合的に推進します。
※ SDGsに関する町の主な取組は「私たちのSDGs」(P6~7)をご覧ください

③ 3つの重点施策方針 重点的に取り組む分野横断的な施策

9つの「まちづくりの目標」を分野横断的にとらえ、次の3つに関連する施策を計画期間内に重点的に取り組みます。

1. 住みよいから、住みたいまちへ（定住・雇用）
2. 子どもの学び・育ちを応援するまちへ（子育て）
3. みんなが元気に活動・活躍するまちへ（生涯活躍・協働）



総合計画とは

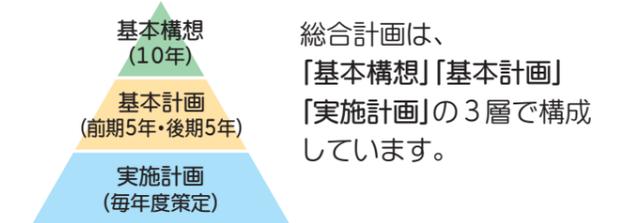
【目的】総合計画ってなに？

総合計画は、健康福祉、生活経済、都市基盤、教育等あらゆる分野の計画の基本となる行政運営の最上位計画で、目指すべきまちの将来像やそれを実現していくための施策方針（町の取組む方針）を定めた計画です。また、まちの将来像や施策方針を住民や事業者等と行政が共有することで、町全体でまちづくりを進めていくための行政経営のビジョンとなるものです。

【計画期間】いつからいつまで？

令和3（2021）年度～12（2030）年度の10年間です。

【構成と役割】どんな計画？



	内容	期間
基本構想	まちの将来像を示し、その将来像を実現するためのまちづくりの基本目標を明らかにします。	10年間
基本計画	基本構想の下で、施策分野ごとの目標、施策方針を明らかにするとともに、重点施策方針を示します。	5年間
実施計画	各施策の主な事業と実施時期を明らかにするもので3年度単位の計画を定めます。	1年間 毎年度更新

第6次武豊町総合計画を策定しました



▶ 問合せ 役場企画政策課

総合計画が目指すもの

① 基本構想

第6次武豊町総合計画における「まちの将来像」

心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン

心つなぎ

住民一人ひとりが互いを認め合い、支え合う、『人がつながるまち』の姿を表しています。そして、将来の住民にも心に向け、みんなの想いを未来につなげるという意味も込めました。

みんなで作る

「みんなで作る」という言葉には、まちで暮らすすべての人はもとより、地域の団体や事業者等の様々な主体がみんな主役となって、ともに作り上げる『協働のまち』の姿を表しています。

スマイルタウン

私たちが目指すまちは、みんなの笑顔の絶えない『しあわせのまち』です。その目標とするまちの姿を「スマイルタウン」という言葉で表現しました。

